

支援予定メニュー

- ① 補助金
- ② 低利融資
(国民金融公庫)



アンプ・スピーカ部



咽喉マイクロフォン

連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業は、圧電セラミックスを活用した高周波技術の研究開発を長年行って来た技術者を抱え、特にドライバー（圧電振動子）の全周波支持方式は他者の追従を許さない独自の技術である。
- ・今回の水中スピーカ開発には耐水圧設計・製造が重要なファクターであり、以前、部品加工をお願いしていた経緯もあって、優れた水圧関連技術を有する有限会社高橋製作所にその技術の活用を依頼し、同意を得た。
- ・一方、株式会社エイコーネットは、プリント基盤開発とアンプ開発に関する技術・設備を完備しており、スピーカシステムの更なる性能向上と小型化の実現のため、連携体へ参加し高度な製品の仕上げを目指すこととなった。
- ・高周波水中スピーカシステムは、株式会社PZT研究所の圧電セラミックススピーカ技術、有限会社高橋製作所の水圧部品加工技術と株式会社エイコーネットの基盤技術の組合せによって、初めて実現する商品である。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	(株)PZT研究所 代表取締役 片平 吉美	
所在地	山形県米沢市笹野町2346-1 (米沢事業所)	
創業	平成19年7月	
資本金・従業員数	200万円	6名
業種	電気音響機械器具製造業	
T E L	0238-49-9233	
F A X	0238-49-9232	
ホームページ	http://ceramicslabo.web.fc2.com/pzt/index.html	
e - m a i l	pzt@mirror.ocn.ne.jp	

PR等他情報

- ・スクーバダイビング市場をターゲットとしている。(株)PZT研究所は圧電セラミックスの振動に関する特殊技術を持っており、音響業界からも興味を示され高い評価を得ている。その技術を背景に水中スピーカシステムの開発ができた。この製品は、安価・軽量・小型・高性能を達成でき、スクーバダイビング業界で長年待望されていたもので、すでに各方面から販売を持ち焦がれている。
- ・この連携体は、過去にも商品開発を行った実績があり、それぞれの企業が責任感を持つと同時に、全体目標の達成に向けて一丸となっている。